

■プラン名：

情報Ⅱの高度な学びを実装するために～教職員のための【必修】AIリテラシー研修プラン

■企業名：

株式会社サーティファイ

■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1. 情報Ⅱ等の教科・科目の開設等

2. デジタル環境の整備と教育内容の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

5. 文理横断的な新しい普通科の設置

● 概要

情報Ⅱ (1) 情報社会の進展と情報技術、(3) 情報とデータサイエンス、(5) 情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究

AIを「正しく」「適切に」授業で扱うために必要な、
最新のAIリテラシーを修得できる講座・研修を提供します。
情報Ⅱ・AI教育に確かな指導力を備えるプランです。

<対象>

- すべての先生に役立つ内容です。
- 情報Ⅱにおける人工知能への理解を促す活動の一環などにご活用ください。
- 特に、「AIの活用を前提とした実践的な学習」「デジタル人材育成を目指す」活動にお役立てください。

<期待される効果>



AI時代に最適な
「正しく使う力」を養います。

有識者の解説で、AIの仕組みのみならず、
歴史・法規・倫理まで広く修得できます。



自信をもって教壇に立つ
ことを応援します。

研修後の試験に合格することで、知識・スキル
を担保。自信を持ってAIの指導ができます。



研修後も授業で活用できる
教材を提供します。

動画教材に加え、教員向け補助教材が充実して
おり、授業をサポートします。

●ポイント

先生方のご負担は 最小限

必要な「教材」「講師」、単元の最後に受験する「試験」をトータルでサポートします。試験後には分野別得点率等でご自身の理解度を詳細に把握でき、その後のご指導に生きる情報を取得できます。



信頼ある外部専門人材の 監修・講座

使用する教材や紹介する講師は、**業界の第一線で活躍**されている講師をご紹介します。例えば、

●AI動画教材と講座：AIリテラシー講座
＞早稲田大学理工学術院基幹理工学部
教授 尾形 哲也 氏 監修

など、多数の有識者との連携の機会を創出します。

補助教材も充実

AI学習の自走支援

オンデマンド学習・研修後に検定試験を活用し、知識とスキルの**定着度を客観的なスコアで証明**することができます。

試験で合格ラインに到達した生徒様には、「オープンバッジ」を発行することで、AI人材としてのスキルを担保します。

オンデマンド学習に使用する「AIリテラシー講座」には、**教職員向けの補助教材も備えており、研修後は、ご自身でAIに関する授業を構築することが可能**となります。



● 参考価格

(例) 教職員 30名 対象の場合

項目	内訳	小計 (税込)
AIに関する、外部専門人材による 【教職員研修】	一式 (交通費別途)	200,000 円
AIリテラシー講座 監修：早稲田大学理工学術院基幹 理工学部 教授 尾形 哲也	受講者視聴アカウント：1,760円/人 講師用補助テキスト：付録	52,800 円
AIに関する理解度測定試験	4,360円/人	130,800 円
		合計 383,600円

【留意事項】

- ・ 参考価格につき、詳しくはお問合せください。条件に合わせ、お見積りいたします。
- ・ 使用する教材、試験、講師のご紹介等は、ご要望の条件に合わせ、最適化してご提案いたします。
- ・ 研修のご提供は内容により単価が変動する可能性があります。
- ・ 「AIリテラシー講座」の閲覧にはPC・タブレット・スマートフォンなど、オンラインに接続したデバイス環境が必要です。
- ・ ご紹介、ご提案する講師や講義内容は、ご希望の実施時期や実施内容により、資料に記載のものから変更する可能性があります。ご了承ください。

AIに関する講座－「AIリテラシー講座」 サービス概要

近年のAI技術の進化にも対応したオンデマンド講座です。

対話型AI「ChatGPT」や生成AIについて触れているほか、画像生成AIや動画生成AIの事例や、チャットボットに関する講座の拡充など、内容をアップデートしており、**AIリテラシーの習得に最適の講座**となっております。



編著 株式会社サーティファイ
監修 早稲田大学理工学術院基幹理工学部 教授 尾形 哲也 氏
体裁 動画教材（合計 約8時間。1本の動画は数分～10分程度）



<目次>

- 第1章 AIの概要
- 第2章 AIの歴史、様々なAIとこれからのAI
- 第3章 AI分野の課題
- 第4章 AIの関連知識
- 第5章 機械学習
- 第6章 深層学習
- 第7章 深層学習の種類
- 第8章 産業への応用、AI社会の実現に向けて
- 第9章 知的財産の保護
- 第10章 基礎数学 ※AI分野に関わる基礎数学
- 第11章 模擬問題

AIに関する講座 – 「AIリテラシー講座」 サンプル動画



以下より、サンプルをご覧ください。ご参考ください。

◆サンプル動画 URL：

<https://youtu.be/qiA61wNx32Q>

◆サンプルテキスト URL：

https://www.sikaku.gr.jp/ai/pdf/A01_sample_text.pdf

AIに関する講座 – 外部専門人材の紹介（例）



弊社では外部専門人材等と連携し、各種セミナーを実施しております。

AIに関する外部専門人材の講義や研修等をご希望の団体様に、講師ネットワークを生かした教員研修や講義といった活動のご提案も行っております。ご参考ください。

◆過去セミナーアーカイブ URL：

<https://www.sikaku.gr.jp/ai/seminar/archive/>

AIに関する講座 – 「AIリテラシー講座」 補助教材ご紹介

AIの概要

対応動画：A01-A05

指導のポイント

このチャプターでは、これから学ぶ人工知能が何であるのかについて学習します。現時点での人工知能がどういうものであるか。何ができて何ができないのかといったことについて学習します。このチャプターでは、下記のポイントを理解してもらえようように授業を進めます。

- ・人工知能についての明確な定義はないこと。
- ・人工知能の研究範囲とロボットの研究範囲は重複する部分はあるが、異なるものであること。
- ・人工知能が行える作業の範囲をもとに「特化型人工知能」と「汎用人工知能」の2つに分類することができる。そして、現在実現している人工知能は「特化型人工知能」のみであること。
- ・現時点での人工知能には、できること、できないことがあり、また、得意なこと、苦手なことが存在すること。
- ・過去に人工知能と呼ばれていたものが、時が経ち、仕組みがわかるにつれて、大多数の人からは「人工知能」とは認識されなくなるような現象が起きること。(AI効果)

講義の導入 学習内容の確認

まず最初に、このチャプターで学ぶ以下の内容について、受講生に伝えます。

1. A01「人工知能(AI)の定義」
これから学ぶ人工知能が何であるのか、「人工知能の定義」について考察する。
2. A02「人工知能の研究範囲」
人工知能とロボットの研究の違いを学ぶ。
3. A03「特化型人工知能と汎用人工知能」
「特化型人工知能」と「汎用人工知能」の違いを学ぶ。
4. A04「人工知能の得意分野と苦手分野」
現時点での人工知能は、得意なこと、苦手なことが存在することを理解する。
5. A05「AI効果」
「AI効果」とはどのような現象かについて学ぶ。

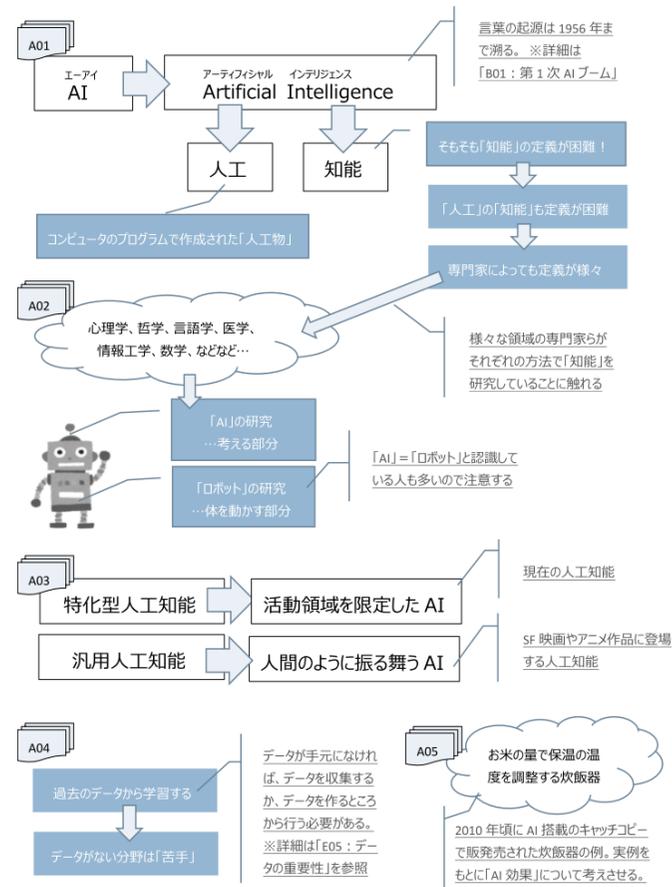
講義 受講生への問いかけ→講義の動画視聴→練習問題解答

講義は、各動画を視聴しながら進めることができます。進め方として、まずは、受講生への問いかけを行い、その後、講義の動画を視聴します。動画の途中で練習問題が提示されますので、練習問題に解答しましょう。練習問題に解答することで、より理解を深めることができます。

1. 受講生への問いかけ

各動画を視聴する前に、以下のような質問をします。授業を行う前(動画視聴前)に、受講生に考えさせることで、興味関心を持たせます。

講義の要点 板書のイメージ図



ご興味がありましたら、以下からお問合せください。



<お問い合わせ先>

株式会社サーティファイ 事業推進部

担当：大橋 崇也

TEL：0120-031-749 (平日 9:00～17:30)

Mail (代表)： info@certify.jp

Mail (個人)： ohashi.takaya@certify.jp

Webサイト： <https://www.sikaku.gr.jp/>



▲プランに関するお問い合わせフォーム：

https://content.sikaku.gr.jp/dxhs_plan